

# 施策分析シート

No1

<b>施策名</b>	基礎学力の向上	<b>施策No</b>	03-04	<b>部課名</b>	教育委員会事務局指導室	
<b>関連部課名</b>	教育委員会事務局学務課					
<b>行政評価 事業体系</b>	<b>分野</b>	産業・教育・文化				
	<b>政策</b>	心身ともに健やかな子どもの育成				

**目的** 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、自ら学び考える力などを含めた確かな学力を児童・生徒に身につけさせていく。

	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)	
①	荒川区学力向上のための調査 小学校基礎達成率（算数）	80.5	81.3	-	23校 100%	
②	荒川区学力向上のための調査： 中学校（数学）基礎達成率	64.7%	68.7%	-	100%	
③	荒川区学力向上のための調査： 中学校（英語）基礎達成率	60.9%	64.3%	-	100%	
④	学校図書館指導員の設置率	-	2校 8.5%	4校 16%	33校 100%	
⑤	土曜スクール実施回数	-	-	33校 年延363回	33校 年延726回	各校月1回（11ヶ月）

**現状と課題**

- 平成14年度より、小中学校の全校において、算数、数学と英語において、理解度に応じた習熟度別を実施しており、その成果が本区実施の学力向上のための調査に実施教科の達成率向上という形で表れている。今後、さらに指導法の改善を行い、個に応じたよりきめ細かい指導を行い、教育効果を上げることが必要である。
- 区内小中学校5校に学校図書館指導員を配置したことにより、レファレンス機能が高まるなど教育効果が表れており、他の学校にも拡大することが課題である。
- 今後の学校教育のあり方や施策の方向性を明らかにするために、今年度、学校教育ビジョンを策定中である。

**今後の方向性**

- さらに学力を向上させるためには、学力の基礎となる国語力の向上が鍵となっている。読書活動の充実を図るとともに、国語力育成の施策の充実に努める。
- 学校図書館指導員の全校配置や蔵書管理システムの導入などにより、学校図書館の一層の充実・活用を図る。
- 学校教育ビジョン策定後は、ビジョンで示された方向性に基づき、子どもの生きる力を育み確かな学力の定着・向上を図るための施策の具現化を図る。

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
A	児童・生徒に確かな学力を身につけさせていくことは学校教育の最重要課題の一つであるため、極めて優先度の高い施策である。

